

令和7年度 和賀東小学校教職員 働き方改革アクションプラン

～子どもと教師のウェルビーイングを目指して～

和賀東小学校では、「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に基づき、以下の取組により、「学校における働き方改革」を推進します。

1 現 状

〔定量的現状〕

◆ 「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」目標達成状況について
「時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。」

・R7年度目標: 10人(R6年度: 19人)

「時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。」

・R7年度目標: 0人(R6年度: 4人)

〔定性的現状〕

○ 教職員の意識

・当校で推進する週1回のノー残業デーの取り組みが、まだ全教職員に徹底されていない。

・時間外勤務している教職員が固定している。

○ 管理職のマネジメント

・今までの業務を、ウェルビーイングの視点をもって見直しを図っている。

2 目標・目指す姿

<R7年度目標>

○ 北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」に掲げるR7年度の目標を達成します。

○ 本校に勤務する先生方の週1回のノー残業デーの取り組み徹底を目指します。

<目指す姿>

・子どもたちへの質の高い教育を持続的に提供し得る観点から働き方の見直しが図られている。

・業務改善について、教員から積極的に提案がなされている。

・働き方改革に係る課題について、学校全体で共有し、その解決を図る場が定期的に設定されている。

・管理職が日頃から、教職員の健康や様子を観察し、声かけを行っている。

・教職員が、授業改善を進め、授業準備や教材研究の時間を十分に確保できている。

・教職員がいきいきとやりがいをもって、子どもたちに向き合うことができている。

3 (2を達成していくための) 具体的取組内容

○ 教職員の健康管理

- ・対話を大切にし、チーム学校で教育活動を推進します。
- ・管理職が、教職員の健康について配慮できるように、日頃からのコミュニケーションを大切にします。
- ・管理職が、長時間勤務者の要因を分析し、改善に向けた対応について検討し実践します。
- ・管理職が、計画的な年次取得や長期休業の年次取得を促し、仕事と休みのメリハリを設けます。
- ・週1回ノー残業デーを個々につくるよう声がけします。

○ 学校における業務改善の推進

- ・行事毎に反省会を実施することにより、業務の効率化を進めます。
- ・職員の意識改革を目的に、隔月に1度安全衛生委員会をします。
- ・行事については、安易にコロナ禍前に戻すことなく、教育において真に必要な観点から業務の精選を進めます。
- ・資料については紙での配付を廃止し、ホームページやメールでの配付・周知を行います。
- ・会議の進め方について事前の運営委員会開催により合理化を図ります。

○ 学校及び教員が担う業務の明確化・適正化の推進

- ・地域学校協働活動とコミュニティスクールの一体的取組として、学校・家庭・地域の連携協働による業務改善を進めます。
- ・PTA活動について、学校及び教職員が担う業務の明確化、適正化や適正な役割分担を進めるよう連携、協議をしていきます。
- ・働き方改革に向けた取組について、保護者の方に理解いただけるよう周知徹底をします。

令和7年4月5日 和賀東小学校 校長 菊池 ゆかり

(参考)「北上市教職員働き方改革プラン(R7～9年度版)」(抜粋)

【策定趣旨】

○ 働き方改革の実現により、未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育の持続的提供につなげる。

【プランの目標】市内小中学校の教員の時間外在校等時間の縮減

(1) 時間外在校等時間(週休日等の部活動従事時間を含む)が月45時間超の者を前年度実績より減少させる。

〔・令和6年度実績(6月調査) 228人 割合 42.0%〕

(2) 時間外在校等時間が月80時間以上の者をゼロとする。

〔・令和6年度実績(6月調査) 27人 割合 5.0%〕